

W3Navi (ダブルユースリーナビ)

サイト内ページ番号システム

導入検討資料

2012年04月01日

Newsbit

ニュースビット株式会社

東京都中央区八丁堀 1-4-5 川村八重洲ビル 8F

TEL.03-3537-6228 FAX.03-3537-6218

<http://www.newsbit.co.jp>

1. はじめに

インターネットの利用はますます拡大し、幅広い年齢層に向けたサービスの充実は必要不可欠となります。

たとえば、足が不自由な方にとってネットスーパーは非常に便利なものですし、各種行政サービスなどの生活する上で必要な手続きなども、今後ネット化が一段と進むでしょう。

しかし、多くのインターネットを利用したサービスは、インターネットに慣れていない中高年層の方にとっては必ずしも分かり易く便利なものではありません。

マウスを操作してカーソルを思ったところにもっていきクリックするという普段パソコンを使用している方からすれば無意識に行っているような操作も初めてパソコンに触れた方にはむずかしいことですし、キーボードから文字を入力して変換するのも一苦労です。

まして高齢者になれば老眼や手の震えなどインターネット利用にネガティブな要因が増えてきますので、より一層簡単に利用できる工夫が必要になるのです。

また、インターネット関連ビジネスにおいて問い合わせやサポートへの対応は非常に重要であり顧客満足度を高めるためにも迅速かつ適切な対応が求められます。

しかしながら、電話によるサポートは、「お客様がどのページを見て電話してきているのかわからない」、「目的のページに誘導するのが難しい」などの問題があり、ページの特定や誘導に非常に時間がかかってしまうのも事実です。

サイトの規模が大きくなると当然ですがページ数が増え、階層が深くなってきますので、ますますその傾向が強くなります。

そしてもう一点、インターネットは非常に便利ですが、新聞や雑誌、カタログなどの紙媒体やテレビやラジオなどの電波媒体、電車やバスなどの中刷り広告などと連動が難しいという課題があります。

インターネット以外の媒体からは、URLを直接入力するかQRコードでアクセスする方法などがありますが、そうした方法は誰にでも簡単とは言い難く、検索してアクセスするという方法が一般的なのです。

そのため、検索結果の上位に表示されることが重要となり多くの企業がSEO対策（検索エンジン最適化）やキーワード広告（アドワーズ広告やスポンサードサーチ広告など）に費用をかけるのです。

W3Navi(ダブルユースリーナビ: World Wide Web Navigation、以下「W3N」とします)は、ホームページをこれまで以上に便利で使いやすくする新しいナビゲーションで、年齢に関係なくその効果を実感いただけますし、お客様はもちろん対応する方の負担を軽減し、サポート等の時間を短縮することで業務効率を上げることができます。更に紙媒体や電波媒体とホームページを関連付けるクロスメディアマーケティングに有効で、広告宣伝や企画など様々な用途での利用が考えられる新しいシステムなのです。

2. W3N（ダブルニュースリーナビ）について

2.1. W3N とは

W3N は、本や雑誌、紙の資料では当たり前のページ番号を利用したホームページの新しいナビゲーションシステムです。

最大の特徴は、便利でシンプル、目つ、使い方も簡単ということです。

たった、2つの機能だけです。どなたでもご利用いただけます。

- ① 通常は現在のページ番号を表示
- ② 入力ボックスに番号を入力し をクリック ⇒ そのページに直接アクセス

ホームページにこのW3Nを設置することにより、これまで「不便でもしょうがない」と感じていた多くのことが解決し、様々なプラスの効果が生れます。

そして、W3N の設置は非常に簡単で数行のコードを追加するだけです。既存のホームページをリニューアルする必要はありませんし、操作も簡単で誰でも直感的に使えるというのが大きな特徴です。

2.2. 導入効果について

W3N の導入によってさまざまな効果が期待できますが、何より、ホームページの利用が簡単になり利用者を与えるストレスが減少し便利になります。

さらに、目的のページが簡単に見つかることで、電話での問い合わせも減ることが予想され、その結果、ホームページ閲覧者からの問い合わせにに対応する担当者のストレスも減らすことができます。

また、マーケティングでの利用の可能性は無限大でこれまでにない斬新な方法を実現することができるのです。

以下、主な効果や利用例について説明します。

2.2.1. 電話による問い合わせやサポート業務の効率化

お客様がホームページを見ながら問い合わせしてきた場合でも、現在のページが何ページであるかをお聞きすれば、こちらもそのページに瞬時にアクセスすることができます。

また、別のページに誘導する場合でも、URL を口頭で伝えたり、ページリンクをたどって目的のページまで誘導する必要はなく、目的のページの番号を入力するだけで簡単に移動できますので、誘導の手間が省け対応時間の短縮につながります。

2.2.2. 新聞・雑誌・印刷物（市報・区報など）とホームページを簡単に関連付ける

新聞や雑誌などの紙媒体では、紙面の都合などで表現しきれない場合にホームページで補うことができれば非常に便利です。

しかし、新聞社や出版社、行政のホームページは規模が大きくどこに情報が出ているかが分かりにくい場合が多いもの事実です。サイト内検索が設置されている場合もありますが、検索しても結果がいくつも表示されることが多く、決して便利だとは言えません。

そのような場合に記事ごとに番号をつけておけば W3N で、簡単にページにアクセスすることができます。

2.2.3. 携帯サイトでの利用でダイレクトアクセスを実現

携帯サイトは、非常に便利ですが、目的のページのアクセスするためには、途中で何ページも経由する必要があります。そのたびにパケット代がかかるという問題があります。

まして、階層が深いページにアクセスする場合などなかなかたどりつけなくてあきらめてしまう場合もあるでしょう。

そうした場合でも W3N を利用すれば、どのページからでも目的のページ番号がわかっているればダイレクトにアクセスできるようになり非常に便利です。

2.2.4. テレビとホームページを簡単に関連付ける

テレビからホームページに誘導するには、検索窓付き広告が一般的ですが、SEO 対策などの関係もありどんなページにも誘導できるわけではありません。特にテレビで携帯サイトに誘導するための方法として画面の下部にアクセスの流れを表示しているのを見かけますが、一瞬表示されるだけです。あれでアクセスできるのは限られた人になるでしょう。

W3N であれば、とりあえず一番検索で上位に表示されているページを開いてもらいそこから番号でアクセスしてもらうことができます。

2.2.5. ラジオとホームページを簡単に関連付ける

ラジオでホームページの URL を「エイチティティピー・コロン・スラッシュシュラッシュ・ダブリューダブリューダブリュー・ドット……」というように口頭で伝えていることがありますが、紙にでも控えられる状態でなければ URL を正確に覚えることは困難です。

W3N であれば、会社名など検索エンジンで上位に表示されるキーワードとページ番号を伝えることで誘導できますので、格段に便利です。

2.2.6. 電車やバスの中吊り広告とホームページを簡単に関連付ける

中吊り広告は、車内という特別な環境である程度時間もあるので他の広告とは違って工夫次第ではユニークな仕掛けができます。面白い仕掛けであれば、携帯電話でその場でアクセスしてもらえる可能性も高くホームページへの誘導は非常に重要です。

しかし、携帯電話で QR コードを撮影するのは誤解をまねく可能性があり、結局 URL を表示するか、検索窓付き広告での誘導となるのです。

W3N であれば、検索窓付き広告との併用で様々な企画が実現できます。

2.2.7. バイラルマーケティングに有効

たとえば「〇〇番のページが……」というように口頭でもホームページが伝えやすくなりますので、口コミを活用した宣伝にも利用することができます。

選挙でインターネットの利用が解禁されれば、街頭演説などでも利用できます。

2.2.8. 検索窓付き広告での利用

検索窓付き広告は、ホームページに他の媒体から誘導する際に有効ですが、検索キーの選定とその検索キーでの上位表示の為に SEO 対策などが必要で、どのページにも利用できるわけではありません。

単純に企業のトップページに誘導するだけでは、そこから目的のページにたどり着けない可能性も出てきてしまいます。

W3N を利用すれば、トップページでもどこでも一番誘導しやすいページにアクセスしてもらいそこから誘導することができるので非常に便利です。

2.2.9. 商品カタログの商品番号で誘導

紙のカタログに記載されている商品番号を W3N で利用すれば、商品番号を入力すればその商品の詳細ページを表示するという使い方もできます。

また、紙のカタログのページ番号とホームページのページ番号を一致させておくという方法もあります。

2.2.10. シークレットページの開設

通常、ホームページのそれぞれのページは、DocumentRoot にある index.html 等からリンクをたどっていきける状態である必要があります。

しかし、W3N を利用すれば、どのページからもリンクしていないページを作成し、番号を知っている方だけにアクセスしてもらうということが可能になります。

特別な会員向けのページや、アンケート調査、キャンペーンなど様々な利用方法が考えられます。

2.2.11. 会員番号とホームページの連動

各種団体のホームページで、会員番号を W3N で利用すれば、会員番号を入力するとダイレクトにその会員のページを表示することができます。

3. 料金システムについて（暫定特別価格）

W3N の料金は、50 ページまで無料です。

そのため、中小規模のホームページでは、ほとんどの場合無料でご利用いただけます。

尚、50 ページを超える規模のホームページの場合は、有料となります。

料金プラン

P*50	P*200	P*1000	P*10000	P*OPEN
初期費用 0 円	初期費用 5,250 円	初期費用 9,450 円	初期費用 52,500 円	初期費用 個別見積
月額 0 円	月額 2,100 円	月額 5,250 円	月額 31,500 円	月額 個別見積
最大設置数	最大設置数	最大設置数	最大設置数	最大設置数
→50 ページ	→200 ページ	→1,000 ページ	→10,000 ページ	→無制限

■オプション（当社が代行する場合）

URL 管理リスト作成

2 万円前後（要見積もり）

各ページへのコード埋込み作業

実費（要見積もり）

4. システムの概要

4.1. W3N 設置について

W3N の設置は非常に簡単です。

弊社が提供する W3N の各ファイルを Web サーバーに設置し、URL とページ番号の登録を行い、各ページに W3N のコードを埋め込んでいただければご利用いただけます。

URL とページ番号の登録は、通常ホームページの管理を行っている方であればできる簡単なものですし、各ページへのコードの設置についてもホームページを制作した方であればたやすいことです。

もちろん、ホームページの各ページに W3N のコードを埋め込む作業については、ホームページの著作権者の了承が得られる場合は、有料となりますが弊社が代行することも可能です。

4.2. 利用するための準備

4.2.1. W3N のファイル設置

W3N を利用するためには、W3N 用の幾つかのファイルが必要となります。

そのため、Web サーバーの DocumentRoot に w3n という専用のフォルダを作成し、そのフォルダに次の 4 つのファイルをコピーしてください。

```
naviform.css
w3ndom.js
w3navi.gif
w3n_arrow01.gif
```

4.2.2. W3N のコード追加

W3N を利用するために、次のコードを各ページに追記する必要があります。

まず、ヘッダー部分<head></head>の間に次のコードを追記してください。

```
<link rel="stylesheet" href="/w3n/naviform.css" type="text/css">
<script type="text/javascript" src="/w3n/w3ndom.js" charset="UTF-8"></script>
```

次に、<body>タグ内に onLoad の指定がある場合には、changeNavino();を追記します。

```
<body onLoad="changeNavino(); ~ ">
```

そして、次の数行のコードを W3N を表示する部分に追記してください。

```
*****ここから*****
```

```
<div id="naviform_wrap">
<div id="NaviForm">
<form name="w3navi" action="http:// www.w3navi.com /w3navi.php" method="post">
<a href="http://www.w3navi.com/"></a>
<input type="text" id="navino" name="navino" maxlength="5" style="ime-mode:
    inactive;width:40px;height:21px" onFocus="clearNavino();"
onBlur="changeNavino();">
<input type="hidden" id="w3ncode" name="w3ncode"
value="*****">
<input type="image" src="w3n/w3n_arrow01.gif" width="21" height="21" alt="クリック！">
</form>
</div>
</div>

```

*****ここまで*****

※上記の value="*****" の部分は、お客様の W3Navi のアクセス番号

W3N を利用するためのコードの追加は以上です。

CMS (Contents Management System) で構築されたホームページでテンプレートを使用している場合は、各ページ個別に埋め込むのではなく W3N を設置するページで使用しているテンプレートに W3N のコードを埋め込むだけで済むことが一般的です。

また、CMS ではなく通常の HTML で書かれたサイトでも、多くのデザイナーが使用している Dreamweaver のライブラリを使用していれば簡単にコードを設置できますし、Dreamweaver のライブラリに該当する機能がないホームページビルダーで作られたホームページでも置換機能を利用することで比較的簡単にコードを設置することができます。

4.2.3. W3N のロゴについて

W3Nを利用する場合 W3N サイトへのリンク画像、数値入力用のテキストボックス、移動ボタンの 3 つの要素はセットとしてご利用いただく必要があります。



4.2.4. URL とページ番号の登録

利用開始時ならびにホームページを大幅に変更するような場合には、URL とページ番号の CSV ファイルを一括登録することができます。

また、利用開始後にページを追加した場合は、管理画面から個別に URL とページ番号を追加することができますし、一度登録した情報の変更や修正も可能です。

ページ番号は、自動で採番することもできますし、任意の番号で登録することもできます。

4.2.5. ページ削除に伴う作業

あらたにページを追加するだけでなく、ページが削除される場合に W3N の登録も削除する必要があります。

この削除処理は、管理画面から個別に削除することも可能ですが、多くのページを一度に削除したような場合は、登録されているページが存在するかどうかをチェックすることで既になくなっているページをすべてリストから一括で削除することができます。

5. その他

5.1. 利用開始までの流れ

W3N の導入は、以下の通りです。

- ①利用申し込み（URL の管理方法も選択）
- ②W3N プログラムならびに専用コードの設置
- ③URL とページ番号を登録

5.2. サポートについて

サポート方法

メールを基本とし原則として電話でのサポートは行っておりません。

但し、メールでお問合せいただいた内容について、電話でのサポートが必要と弊社が判断した時は電話によるサポートを行う場合もあります。

サポート対応時間

平日 10:00～17:00（土・日・祝祭日・年末年始・夏季休暇中を除く）

有料サポート

メールや電話にて解決が難しい場合などで、弊社スタッフが訪問して対応する場合などは有料となります。

5.3. 免責

W3N について弊社があらかじめ明示している機能については保証いたしますが、それ以外の機能については、保証することは出来ません。

また、W3N を設置した Web サーバー、データベースサーバーならびにネットワークなど弊社が提供した W3N のプログラム以外が原因と思われる不具合についても弊社の保証範囲から除外します。

さらに、W3N が何らかの原因で動作しなくなった場合や、W3N を設置したことによる不具合やそれによる二次的な損失等が発生したとしても、弊社は損害賠償等の責任を負いません。

5.4. 転載、再配布

弊社の許可なく転載、再配布、第三者へのプログラムの公開は一切禁止します。